

平成 26 年 8 月

会員各位

資産評価政策学会

会長 三橋 博巳

平成 26 年度 資産評価政策学会 総会・シンポジウムのお知らせ

拝啓 会員の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。さて、平成 26 年度総会及びシンポジウムを下記のとおり開催することが決まりましたので、ご多用のところ恐縮ですが、万障お繰り合わせのうえ、ご出席下さいますようご案内申し上げます。出欠につきましては、メール・FAX・ハガキにてご連絡くださいますようお願いいたします。

敬 具

記

1. 日時 2014 年 9 月 6 日（土）13：00～
2. 会場 日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂（東京都千代田区三崎町 2-8）
3. プログラム
総会 13：00～13：50
学会賞表彰式 14：00～14：20
シンポジウム 14：30～17：30
懇親会 18：00～19：30（会場：日本大学経済学部 7 号館 14 階予定）

<総会>

(1) 審議事項

- 第 1 号議案 平成 25 年度事業報告及び収支決算（案）
- 第 2 号議案 平成 26 年度事業計画及び収支予算（案）

(2) 報告事項

- ・平成 26 年度資産評価政策学会賞
- ・その他

<学会賞表彰式>

<シンポジウム>

資産評価政策学会 「総会・シンポジウム」出欠表

○総会	出席	欠席
○シンポジウム	出席	欠席
○懇親会	出席	欠席

当日、ご欠席の方は、下記の委任状にもご記入の上、8 月 29 日(金)までに必ずご返送くださいますようお願いいたします。

会員氏名 _____

委 任 状

私は平成 26 年 9 月 6 日開催の資産評価政策学会総会における議決権を議長に委任いたします。

氏名 _____

平成 26 年 月 日

平成 26 年度 シンポジウム

・日時

2014 年 9 月 6 日 (土) 14:30~

・テーマ

『固定資産税評価の現状、課題、展望：土地の評価を中心に』

・趣旨

固定資産税は、都市計画税と合わせると、市町村税収の約 5 割を占める。市町村にとって基幹税として重要である一方で、民間経済活動等に対する影響も大きなものがあり納税者の関心も高い。

土地の評価は、全国 1700 を超える地方団体が約 1 億 8000 万筆の土地を対象に行う大量一括評価であり、適正、公平な評価と課税、評価の均衡の確保が強く求められている。

平成 6 年度の評価替えにおけるいわゆる 7 割評価の導入から 20 年を経過した今、改めて固定資産税評価のこれまでの進展、社会経済状況の変化等を踏まえ、土地の評価を中心に、その現状、課題、今後の展望について、国、地方、民間のパネリストによるパネルディスカッションを行う。

パネルディスカッション

コーディネーター：渡邊 文雄 (資産評価システム研究センター理事長)

パネリスト：永井 克典 (総務省自治税務局固定資産税課固定資産鑑定官)

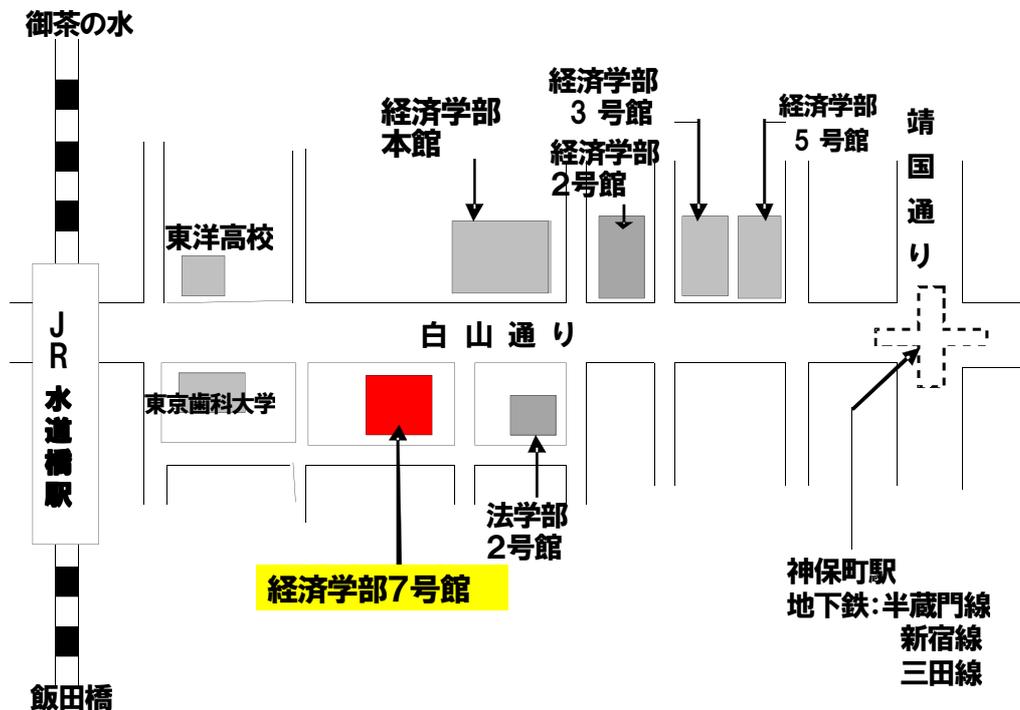
石井 優 (日本不動産研究所システム評価部長)

今村 政夫 (朝日航洋株式会社主任研究員)

岡島 茂 (東京都主税局資産税部資産評価専門課長)

・会場

日本大学経済学部 7 号館 2 階大講堂 (東京都千代田区三崎町 2-8)



(問い合わせ先)

学会事務局

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町 3-2 千代田印刷会館 505 号室

Mail : japap00@gmail.com

FAX : 03-5355-7307